

# 激戦激闘の真只中 才5回臨時大会 圧倒的に成功

## 日刊 動労千葉

81.2.24  
No. 668

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(電話)二九三五、六(公衆)五三二二、七二〇七

### 三月ジェット決戦の闘う方針を確立



満場一致で「3月ジェットスト突入を決定した才5回臨時大会(福祉センター・大ホール)」

動労千葉才五回臨時大会は、2月23日、千葉市・労働者福祉センター大ホールで、代議員・傍聴者二二〇名の結集をもって開催され、三月ジェット決戦を闘う方針が圧倒的高揚の中で確立された。

いまこそ動労千葉の底力を発揮し、労農連帯―自前の労働運動路線の真価をかけ、三月ストライキの爆発をかちとろう！

大会で確認されたこのスローガンが動労千葉千三百名の決意と今後の闘いの方向性を何よりも鮮明に示している。

(一)、3月2日以降当分の間、ジェット燃料列車を対象とする指名ストライキ。

(二)、3月2日以降、旅客列車を含む全列車を対象とする指名ストライキの準備体制確立。

(三)、3月2日始業時以降、闘争集約時まで、全地上勤務者を対象とする減産闘争(B行動)。

を骨子とする才五回臨時大会確認の闘争方針にもとづく闘いは、現下の情勢の中にあつて、単にジェット延長阻止

のみならず、日本労働運動の戦術的・階級的再生をかけ、憲法改悪・軍事大国化策動を労働者・人民の力ではね返してゆく突破口を切り拓くものとして決定的重要性をもつに至っている。

いまこそ決起のとき。

であるが故に「55・10」「111」乗務員運用合理化「スト破り助役株闘士導入」「千葉地本」デッチ上げ「再建」という理も非もない動労千葉への組織破壊・闘争圧殺策動が権力・当局と「本部」革マル反動分子一体となつて行われてきたのである。

これらの攻撃は密集せる反動の全体重をかけた攻撃としてあつたが、動労千葉千三百の強固な闘いによって全て粉碎され、これらの闘いの勝利を基盤に、才五回臨時大会の闘う方針は確立されたのである。

三月ジェット決戦―この歴史的闘

い―を、この面の動労千葉の闘いで培ってきた強固な組織力と全ての闘いの成果をかけて、断固として貫徹してゆこう。

いまこそ決起のときである。



スト破りのための線見訓練を許すな!―成田、佐倉両拠点では連日の激闘が続く。2月23日の大会の当日も早朝から闘いぬかれた。写真―2月23日、佐倉株闘

団結闘争を貫徹せよ